

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

NPO中小企業再生支援第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：岩崎学園東戸塚保育園	種別：保育所
代表者氏名：柳川 まつ子	定員（利用人数）：160名（現185名）
所在地：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町550-9	
TEL：045-826-7737	ホームページ： https://www.iwasaki.ac.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成19年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人岩崎学園	
職員数	常勤職員： 29名 非常勤職員 20名
専門職員	園長 1名 管理栄養士 2名
	保育士 37名 調理員 7名
	看護師 1名 事務員 1名
施設・設備の概要	保育室 6室 一時保育室 1室
	子育て支援スペース 1室 調理室 1室

③ 理念・基本方針

【保育の理念】

- 1 丈夫な身体と、しなやかな心を持つ子ども
- 2 礼儀正しく、思いやりとやさしさに溢れる子ども
- 3 未来に向かって、夢を持ち続ける子ども

【保育の方針】

- ①一人ひとりのありのままの姿を認め共感し、一人ひとりを大切にする保育
- ②日々の挨拶や子どもの発した言葉を大切に、子どもたちが互いに学び、育ちあう力を育む保育
- ③独自の運動プログラムを取り入れ、心身の健康を目指す保育
- ④家庭や地域社会との連携を大切に、子どもの健やかな成長を見守る保育

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

岩崎学園東戸塚保育園は、平成19年4月1日にJR横須賀線の東戸塚駅より徒歩5分の所に開園し、影絵作家の藤城誠治氏の大きな壁面が建物の前面に浮かんで見えます。鉄骨造7階建の1、2階を本園が使用、上の階は同じ学校法人岩崎学園が運営する横浜保育福祉専門学校が使用、地下3階の体育館及び前面総鏡張りのリトミック室、屋上の238㎡の園庭は共同使用です。1フロアー850㎡の広さをもち、1階は玄関フロアー、職員室、子育て支援スペースの遊戯室、ふれあいスペース、一時保育室、相談室で使用しています。2階は全フロアー保育室、ホール、調理室で使用しています。災害の場合は同建物内で帰宅困難者一時滞在施設に使用されるフロアーがあります。園内は木のぬくもりに溢れ、淡いオレンジ色で統一、優しく温かな雰囲気のある保育園です。定員160名。現在待機児童解消のため定員119%まで入所者が可能

な円滑化入所定員が適用され、185名在園している大規模保育所です。職員は常勤29名、非常勤職員20名と人員は国基準を上回る体制です。「一人ひとりを大切に、人間形成の礎を築く、最も大切な乳幼児期を、ご家庭の皆様とご一緒に、見守り、育み、『丈夫な身体としなやかな心を持つ子ども』の育成を目指して参りたい」と園長は述べています。

【園の特徴】

同建物の地下3階にある体育館はバスケットボールの試合が可能な広さをもち、本園の運動プログラムの陸上競技、球技、ダンス、器械体操が可能で、隣の前面総鏡張りのリトミック室はダンスの練習の場です。2階にはウッドデッキのテラスや大型遊具のある人工芝の園庭、6階にはプールあそびも出来る人工芝庭園と駅近ではありますが遊び場所は豊富にあります。

建物の防犯管理は24時間警備、24時間換気、共有部分の清掃などは岩崎学園施設管理部が一括管理、園内の清掃、安全点検は園が行います。園玄関には検温器付き顔認識システムを設置、不審者対応もできています。

徒歩5分の品濃中央公園はグラウンド、大型遊具、樹木の豊富な山坂など備えた1万㎡を超える大型公園で、本園のメイン遊び場となっています。

この公園を含む周辺の公園の遊具、グラウンドの安全点検は当法人の総務部担当者が年1回安全点検を行い、写真付きの報告書があり活用されています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年9月10日（契約日）～ 令和3年3月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成27年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 2年間継続する運動プログラム「スマート・ホット・キッズ」

岩崎学園が開発した運動プログラムとしてホームページで紹介しこれを目当ての入所希望者がいます。4、5歳児を対象とした「スマート・ホット・キッズ」は、運動能力向上のために、陸上競技、球技、ダンス、器械体操（5歳児のみ）の4つを柱としたプログラムを3人の専任指導員のもとに取り組みが行われています。神経系が最も発達するといわれている幼児期に、いろいろな動きを正しく行うことで、運動神経の発達を促していきます。毎週1回60分、1クール11週、これを1年間で3回繰り返し、さらに2年間続けます。小学校の運動会のリレーのアンカーを務める卒園生もいます。運動のみでなく、本園の理念である礼儀やルールを身につけることで、礼節を持って物事に取り組む姿勢・態度を習得しています。

2. 地域の子育て支援の拠点としての役割を果たしています

設備の安全性、交通の便の良さなどで戸塚区保健福祉センター主催の「赤ちゃん教室」が毎月本園で開催され0歳児と保護者約40名が参加するイベントが開設以来続いています。

また、本園主催の親子教室「お日さま会」にも毎月平均5組来園し、2歳児、5歳児の近隣保育園との交流会や保護者の緊急な用事のための一時保育利用者も年間延べ3,300人を超えるなど、本園は地域住民の子育て支援の拠点となっています。

本園のある建物は災害時の帰宅困難者一時滞在施設として横浜市と協定を結んでいます。

◇改善を求められる点

1. 障害者保育のPRを積極的に

現在、対象児は10人前後おり、職員は毎年障害児のエキスパートとして4、5人の保育士が計画的に関連研修を受けています。保護者向けの「園のしおり」や見学者向けの「岩崎学園東戸塚保育園ご案内」で「障害児保育」の受け入れに対する園の姿勢を、さらに前面に出すことが望めます。

発達障害児に対する園の取組みとして、引き続き地域へのPRを望みます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、2回目の受審でしたがコロナ禍で緊急事態宣言発出中でもあり、保護者の皆様にも園内にお入り頂いていない状況の中、どのように進められるのかと最初はとても不安でしたが、丁寧にご説明頂き十分ご配慮頂いた上で進めることが出来、感謝しております。前回とは違い新しい評価基準でしたので、まずは職員全員で説明を伺い、一人ひとりが自己評価を行い、その後全員で意見や疑問点を出し合った後、経験年数の高い職員から新任職員までを配置したグループ分けを行い、1つ1つの評価項目ごとに話し合い進めていきました。その中で改めて自らの保育を振り返り、工夫していることや改善すべきことを箇条書きにし、全員の意識統一を図っていきました。改善を求められる点に関しましては直ぐに対応して参ります。課題として見えてきたのは地域との交流、地域貢献という部分です。コロナ禍で園内の清掃消毒、園児の送迎、日々の保育や行事の見直し等と業務も増え、地域に向けて定期的に発信することが出来ない1年でしたが、今後はZoomやYouTubeなどうまく活用しながら地域との交流も進めて参りたいと思います。また、沢山の高評価も頂き、職員一同大変喜んでおります。これに甘んじることなく、今後も園児一人ひとりを大切に、温かな保育を展開して参ります。最後に第三者評価の受審にあたりご尽力頂きました評価機関の皆様様に心より感謝申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり